

決算認定での 会派の意見

令和4年度の多摩市の各会計決算にあたり、定例会最終日の討論では、各会派がこれからの市政へ向けた一般会計歳入歳出決算への意見を述べました。

会派により意見が分かれ、9会派が認定、1会派が不認定の討論を行いました。

採決の結果、一般会計歳入歳出決算を含む、令和4年度の多摩市の各会計決算は認定となりました。

さらに一步、市民に寄りそう市政に

認定



日本共産党
大くま 真一

コロナ禍・物価高騰対策

コロナ禍・物価高騰にあって、高齢者・児童・障がい者にかかわる施設等への支援や独自のPCR検査体制・相談窓口の継続など、

2022年度は相次ぐ感染拡大の波や物価高騰、ロシアのウクライナ侵略によりひろがる社会不安のなか始まりました。市が予算で示した「市民の生命、健康、生活を守ることを最優先とし、引き続き感染症対策や経済活動を支える取組みを切れ目なく行っていく」ことができたのか、もっと市民に寄り添った対応が取れたのではないかと、という視点で審査し、認定しました。

物価高騰対策や市民の不安解消が進められました。事業者支援として始まったポイント還元事業に物価高騰における「くらしの支援」という視点が入れた点は評価しつつも、誰もが利用できるものではないことから、直接の支援も必要であることを指摘しました。もう一步ふみ込んだくらしの支援を

市の財政指標は回復しましたが、市民・事業者はまだまだ苦しい状況に置かれています。そうしたなかで地方創生臨時交付金では約2.3億円を使わずに国に返還することになっています。この交付金で他自治体では学校給食費無償化などの大型施策が実現しています。「市民のくらし・命をまもる」という自治体の責務を実現するため、さらなる努力を求めました。

市民にそして未来に責任ある決断を

認定



公明党
池田 けい子

市民ニーズを的確に捉えた決断を

令和4年度は、コロナの影響から脱却しつつも、ロシアのウクライナ侵攻を契機とした物価高騰で、市民生活に大きな影響を及ぼすことが危惧されました。「地方創生臨時交付金」の2億円を超える

ロシアによるウクライナへの軍事侵略から1年7か月。多くの人が世界平和への思いを改めて強く感じたことだと思います。「多摩市平和展」及び3年ぶりに実施された「子ども被爆地派遣事業」は、平和の大切さを次世代に伝える重要な事業です。今後とも大切に取組んでいただきたいことをまずは申し上げます。

返還は、好評であったポイント還元事業などに活用できなかったのではないかと、大変残念に思います。今後、庁内で執行状況や有効な事業推進を検討する仕組みが随時作られることを提案します。

市民の安全第一を考えた決断を

当初の計画から「市民意見を取り入れ、安全が保たれる中で」といって変更されたレンガ坂の改修工事。現在、樹木や街路灯が市民にとって危険を及ぼす可能性があることについて大変危惧し、疑問が残ります。今後、市役所本庁舎をはじめとする大型公共施設が更新時期を迎えますが、市民に理解を得る努力を続けながら、公共施設の総量や安全をしっかりと検討し、市民ニーズ・時代のニーズに合致した公共施設サービスの提供を望みます。

コロナとの戦いに一区切り

認定



あすたま・維新
藤條 たかゆき

多摩市でも地域の夏祭りや行事が復活し、これまでのコロナ禍を吹き飛ばすかの様な状況を見せています。こうした光景が地域に戻ってきたのも、誰しもが各々の立場でコロナと真正面から戦ってこられたからであり、あらためて感謝を申し上げます。

政治の壁が連携を阻む

緊急事態条項が整備されていなかったこともあり、医療提供体

多摩市でも地域の夏祭りや行事が復活し、これまでのコロナ禍を吹き飛ばすかの様な状況を見せています。

こうした光景が地域に戻ってきたのも、誰しもが各々の立場でコロナと真正面から戦ってこられたからであり、あらためて感謝を申し上げます。

医師会と連携してのPCR検査センター設置やワクチン接種対応を全市で行い、第7波は特に厳しく自宅療養者への食糧支援や転院支援事業も行われました。

制の最適化が難しい中、保健所機能の集約化で連携を強化し乗り切れたという現場の声も聞かれました。

コロナ禍では、常に状況変化に対応する力こそが求められたことも教訓になりました。

批判だけで終わらせず、提案型で質疑

予算決算特別委員会では、学校のICT利活用や非正規雇用待遇改善、街のブランド化と防災対策、情報システムの管理方法。また、放置自転車対策や民生委員の成り手不足、八ヶ岳少年自然の家や学校給食センターの運営などについても改善策を提案しました。決算から予算へと連動するサイクルが重要であり、市民の利益と福祉の向上をめざして議会と行政がその両輪となり進んでいかなければなりません。